

地域で活躍したい人へ

「生活者としての外国人」に対する 日本語教師【初任】研修

2021年9月11日（土）開講

全14回（9/11－12/18）全90時間 ライブ研修70時間＋課題 20時間

★全ての研修を録画しますので、いつでも、どこでも、視聴は可能です。
但し、ブレイクアウトルームを使用しているときの研修の録画は視聴できません。

● 共催

北海道

一般社団法人 北海道日本語センター

東北

インターカルト福島サテライト

関東

インターカルト日本語学校

東海

Semiosis株式会社

九州

久留米ゼミナール日本語学科

沖縄

国際言語文化センター附属日本語学校

● 受講料

20,000円（税込）

● 対象

日本語教師養成講座420時間終了、日本語教育能力検定試験合格
日本語教師経験0～3年程度の方、他



ZOOM配信

研修は全てオンラインでの配信になります。

お問い合わせ

インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所

〒110-0016 東京都台東区2-20-9

TEL 03-5816-5019 WEB <https://www.incul.com/>

お申込みは
こちら



お申込み用QRコード

内容

これからますます加速する多文化共生社会における、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の基盤を担う日本語教師初任者のための研修です。さらに学びを深めたい方のために、来年の1月にスタートする北海道・福島・東海・沖縄のブロックが主催する研修に人数限定にはなりますが、参加することができます。研修は全てWEB会議システム「ZOOM」で配信します。

日程

全14回（土曜日）*10/17は日曜日

2021年

9/11, 9/18, 9/25
10/2, 10/9, **10/17**, 10/23, 10/30
11/6, 11/13, 11/20, 11/27
12/4, 12/11, 12/18

時間

1時限	9:30-11:00
2時限	11:15-12:45
3時限	13:30-15:00

- ★ 9/11～12/11 2時限
- ★ 12/18 3時限

講座一覧

【生活者に関する日本語教育】

- ・日本語教育を取り巻く現状と変化
- ・地域における日本語教師の役割

【多文化共生】

- ・外国人高校生に向けてのキャリア支援
- ・多文化共生における異文化間理解
- ・「生活者としての外国人」の多様性
- ・多文化共生と生活者支援における日本語教師の役割

【地域日本語教育】

- ・多文化共生施策と地域日本語教育
- ・「生活者としての外国人」のための教員教材のリソースと著作権
- ・外国人と共に働き、活躍の場を生み出す。わたしたちの多文化共生事業
- ・（北海道）の取り組み 空白地域における日本語学習支援とは
- ・（福島）の取り組み 災害時に向けての支援
- ・（東海）の取り組み 生活者としての外国人のための電子教材
- ・（沖縄）の取り組み 海外日系社会へのことばの取り組み

講師

- 西原鈴子（文化審議会日本語教育小委員会元主査/日本語教育研究所 理事長）
伊東祐郎（文化審議会日本語教育小委員会元主査/国際教養大学専門職大学院日本語教育実践領域代表）
加藤早苗（文化審議会日本語教育小委員会元副主査/インターカルト日本語教員養成研究所所長）
仙田武司（公益財団法人しまね国際センター多文化共生推進課長）
戸嶋浩子（ひらがなネット株式会社代表取締役）
吉澤弥重子（ひらがなネット株式会社取締役）
萬浪絵理（千葉市国際交流協会 地域日本語教育の体制づくり推進事業総括コーディネーター）
立部文崇（徳山大学 経済学部 准教授 地域共創センター長 学長補佐）
新居みどり（特定非営利活動法人CINGAコーディネーター）
河村八千子（特定非営利活動法人フロンティアとよはし理事長）
室田真由見（東京医科歯科大学・獨協大学他非常勤講師/インターカルト日本語教員養成研究所講師）
渡辺唯広（株式会社凡人社 編集部編集長）
大橋由希（株式会社凡人社 編集部主任）
幕田順子（公益財団法人福島県国際交流協会主任主査）
佐々木千賀子（蓬萊日本語教室 副代表）
阿部仁美（一般社団法人北海道日本語センター理事）
大井裕子（一般社団法人北海道日本語センター理事）
都築鉄平（Semiosis 株式会社代表取締役）
金城宏幸（沖縄 国際言語文化センター附属日本語学校代表取締役）

お申込み

下記URLか表面QRコードよりお申込みください。
<https://forms.gle/HPHbKSoXAmBLUc3R6>

締め切り

2021年9月8日（水）
希望者多数の場合は先着順となります。